

編集後記

7月後半に韓国・ソウルに学会発表のため出張をした。当地には2度目の渡航であったが、学会会場の某大学キャンパスでは、学生のアルバイトが、テキパキと実によく学会の運営をサポートしている様子が印象に残った。おまけに、記念品として、ハングルの印鑑までもらった。自分はハングルを全く知らないで、自分の名前は、おそらくこう書くのだろうと想像するしかなく、残念ながら、いまだ使う機会がない。こうした好印象とは裏腹に、市内をタクシーで移動する際には、2回に1回の割合で迂回された。日本と比べてタクシー代が安いとはいえ、確信犯がこれほど多いのには些か腹ただしくなった。一緒に参加した他大学の先生方も同じ目に遭ったと聞いて、この国の別の面を垣間見た気がした。

さて、今号は「国際物流の新動向と課題」というテーマで特集を組んだ。今年3月に当研究所主催で実施された日韓国際経営研究交流会で発表された論文（改訂論文を含む）を所収し、東アジア地域の国際物流に関する展望が窺える、かなりの力作揃いである。最近、竹島（韓国名・独島）問題で関係が心配される両国であるが、アカデミックの分野では良好な関係を維持して、このような研究活動が両国の持続的発展に寄与していくことを期待してやまない。

（編集担当：菅野正泰）